

保証書

持込修理

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

型式 AIM-HW01 保証期間 お買い上げ日より1年間

※ お買い上げ日 年 月 日

※ お客様 氏名 電話番号 様 ()

ご住所 〒 □□□-□□□□

※ 販売店名・住所・電話番号

【 無料修理規定 】

- お買い上げ日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い上げの販売店または弊社が無料修理致します。
- 無料修理をお受けになる場合も、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い上げの販売店または弊社にご依頼ください。
- 保障期間内でも、次の場合は有料になります。
 - (イ) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の器具の転倒、落下、衝撃等による故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
 - (ニ) 指定外電源(電圧、周波数)使用による損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払い明細書の提示がない場合。
 - (チ) 部品の消耗による部品の交換及びメンテナンスの費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は、再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- お客様の個人情報のお取扱いについてお客様よりお知らせいただいた氏名、住所など個人情報は、当社商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 保証期間中の修理品の送受方法は原則センドバック方式(お客様にて修理依頼品を弊社修理窓口へ発送頂く方法)で、送料は双方元払い(往路:お客様負担、復路:弊社負担)とさせていただきます。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口(P.18)にお問い合わせください。
 - 保証期経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

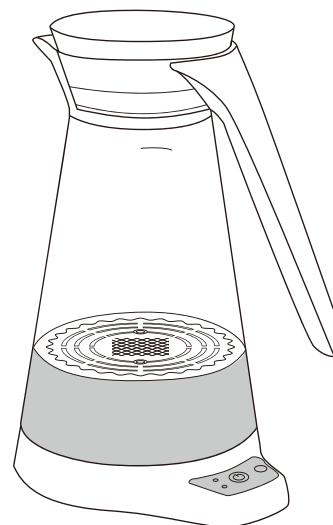
修理メモ

家庭用

porte

H⁺server

卓上水素生成器



AIM-HW01

取扱説明書 保証書付

このたびは、ポルト 卓上水素生成器 H⁺serverをお買い上げいただき、ありがとうございました。この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



ツカモトエイム「ホームページ」のご案内

ホームページでは新製品情報や、商品に関するさまざまな情報をお届けしております。また、お客様の商品購入やお問い合わせにもご対応いただける便利なホームページです。ぜひ、一度ご覧ください。

<http://www.tsukamoto-aim.co.jp/>

もくじ

安全上のご注意 1~5

各部のなまえ 6

使いかた 7~11

お手入れのしかた 12~14

保管のしかた 15

サーバーユニットのお取替え時期について.. 15

故障かな?と思ったときは 16

仕様 17

保証とアフターサービス 17

消耗品販売のご案内 18

保証書 裏表紙

販売元：株式会社ツカモトコーポレーション エイム事業部

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 1-6-5

TEL 03-3279-1511 もしくは 1512 FAX 03-3279-1515


2018年 8月 初版発行


安全上のご注意


必ずお守りください

本製品は安全を十分に考慮して設計されていますが、電気製品は取り扱いを誤ると大きな事故につながる可能性があります。お使いになる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。


表示について

 **警告** 取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷^{※1}を負う可能性がある内容」を示します。

 **注意** 取り扱いを誤った場合、「軽傷^{※2}を負うことや、物的損害^{※3}が発生する可能性がある内容」を示します。

 中の絵や近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。

 中の絵や近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。

 中の絵や近くの文で、注意を促す内容を示します。

※1：重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財・および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

本体・付属品について（各部のなまえP6を参照下さい。）

警告

火災・感電・ショートを防ぐために

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

指示

⇒発煙・発火・感電の原因になります。すぐにスタンドユニットの電源を「OFF」にし、アダプタの電源プラグ・アダプタプラグを抜いて、販売店またはお客様相談窓口にて点検・修理を依頼してください。

- 電源を入れても、ときどき運転しないことがある。
- アダプタコードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 使用中ときどき止まる。
- 使用中に異常な音や振動がする。
- 本体やアダプタが変形したり異常に熱い。
- こげくさい“におい”がする。

電源・アダプタ・配線器具は正しく使う

指示

- コンセントや配線用器具の定格を超える使い方や交流100V以上での使用はしない。⇒たこ足配線等で定格を超えると発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグ・アダプタプラグのホコリは定期的に乾いた布でふき取る。
- 電源プラグ・アダプタプラグは根元まで確実に差し込む。⇒感電、発熱による火災の原因になります。
- お手入れのときは、必ずスタンドユニットの電源を「OFF」にし、アダプタの電源プラグ、アダプタプラグを抜く。⇒感電・けがの原因になります。

アダプタコード・電源プラグ・アダプタプラグが傷んだり、差し込みがゆるいときは使わない

禁止

- ⇒感電・ショート・発火の原因になります。
- アダプタコードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工したり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしない。
- アダプタは濡れた手で抜き差ししない。
- アダプタプラグの（+）（-）をショートさせない。

風呂場など湿気の多い場所では使わない

水ぬれ禁止

- ⇒感電の原因になります。
- スタンドユニット(アダプタプラグ差し込み口・電源接続部)およびサーバーベースユニット(電源接続部)は、水洗いしない。濡らさない。防水設計ではありませんので、濡れた状態で使用すると本体の故障・火災・感電の原因になります。濡らした場合は、乾いた布で水滴を拭き取り、完全に乾かしてからご使用ください。



分解・修理・改造をしない

分解禁止

⇒火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店、またはお客様相談窓口にご相談ください。



専用のアダプタ以外は使用しない。またアダプタは本機以外の機器に使用しない（アダプタ型番：K15V190078J）

禁止

●針金や金属片などを本体やアダプタ内部に差し込んだりしない。
⇒発熱・発火・感電の原因になります。



子供やペットの手の届く場所には置かない

禁止

⇒感電・けがの原因になります。



子供だけで使わせたり、遊ばせない

禁止

⇒事故・感電・けがの原因になります。
自分で意思表示できない人、または自分で操作できない人は付き添いなしでは使わないでください。
特に小さなお子様にはご注意ください。



水素水で薬を服用しない

禁止

⇒本製品は医療機器ではありません。
⇒本製品の使用により、疾病の治療や美容効果などを保証するものではありません。

本体・付属品について（各部のなまえP6を参照下さい。）

⚠ 注意

火災・感電・ショートを防ぐために



アダプタは正しく使う

指示

- 電源プラグを抜くときはアダプタコードを持たずに、必ずアダプタ本体を持って抜く。
⇒プラグの刃の変形、アダプタコードの断線による感電・ショート・過熱による発火の原因になります。
- 本機を使わないときは、スタンドユニットの電源を「OFF」にし、アダプタの電源プラグをコンセントから抜く。
⇒けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

けが・破損を防ぐために



本体を移動させるときは、スタンドユニットの電源を「OFF」にし、しっかり両手で持つ

指示

⇒落下による本体の破損・けがの原因になります。



本製品を不安定なところや振動のあるところで使用しない

指示

⇒転倒による水漏れ・事故・故障の原因になります。



直射日光の当たる場所や高温になる場所、火気の近くで使用しない

禁止

本製品の水素水を生成する水素ガスは安全ですが、万が一の為に、たばこや線香の火など火気を近づけないでください。
⇒過熱による変形・発火・故障の原因になります。



お手入れの際は漂白剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどを使用しない

禁止

- 本体のお手入れに高温のお湯（80度以上）は使用しない。
- 本体・付属品は食器乾燥機や食器洗い機に入れない。
⇒変形・変色・故障の原因になります。



セラミックボールケースは洗剤で洗わない

禁止



本体・付属品を冷蔵庫や冷凍庫に入れない

禁止

⇒水濡れ・凍結による故障の原因になります。

水素水に関して

⚠ 注意



生成した水素水は飲用以外での使用はしない



水以外のもの(お茶・コーヒー・ジュースなど)での水素生成をしない



水道水またはミネラルウォーター(軟水)を使用する

- 塩素除去セラミックボールにより、水道水(硬度60)に含まれる塩素量よりも低い濃度に除去できることを確認しておりますが、塩素臭が気になる方は、ミネラルウォーター(軟水)もしくは、浄水器の水を使用されることをお勧めいたします。
- 使用する水によって水素水が生成できないもの、できても品質が保証できないものがあります。以下の水はご使用にならないでください。
 - 日本の水質基準に適合していない水
 - 食塩水
 - 超硬水(硬度350mg/L以上)
 - 炭酸水
 - 純水
 - 蒸留水



50℃以上のお湯を入れて水素を生成しない

⇒機器の誤作動や本体の変形による故障の原因となります。



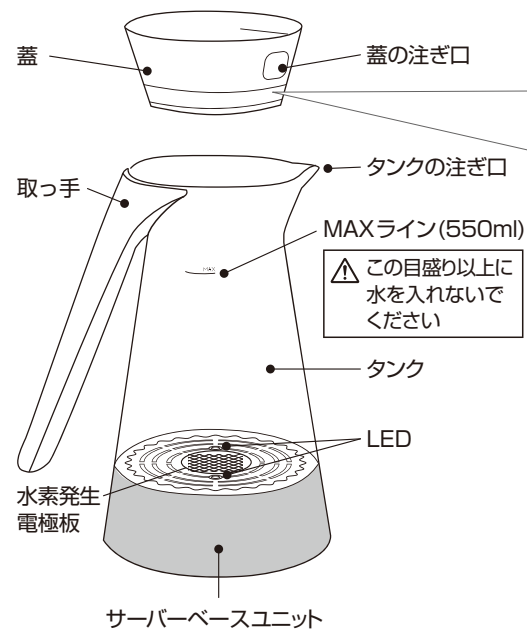
生成した水素水は出来るだけ早く飲み(推奨2時間以内)、長時間保管しない

塩素などの殺菌成分が除去された変質しやすい状態の水はできる限り早くお飲みください。

⇒変質した水を飲むことで体調を崩す原因となります。

各部のなまえ

本体 (蓋+タンク+サーバーベースユニット)

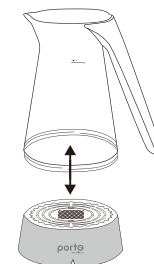


蓋裏

セラミックボールケース*
(内部に塩素除去セラミックボールが入っています。)
*出荷時蓋裏に装着しています

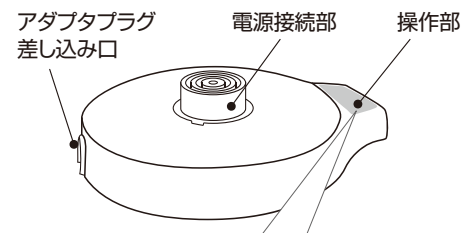


分解不可
洗剤を使用して洗わないでください



タンクとサーバーベースユニットは、取り外してお手入れすることができます。

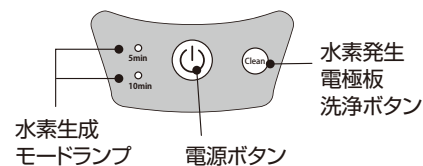
スタンドユニット ⚠ 水ぬれ禁止



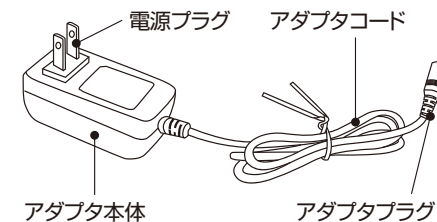
裏面 ⚠ 水ぬれ禁止

電源接続部

操作部拡大図



付属品 アダプタ (K15V190078J)



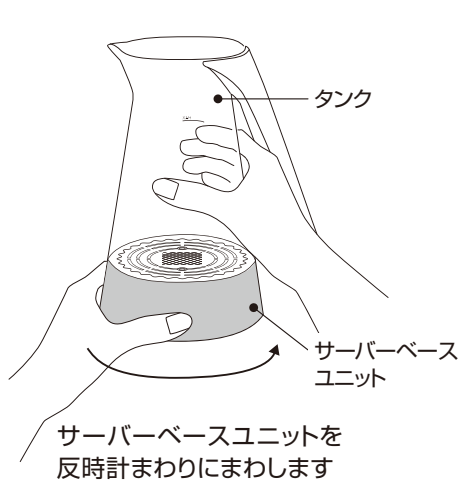
使いかた

はじめてご使用になる際、次の手順で本体内を洗浄してください。
使いはじめのうちは、樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

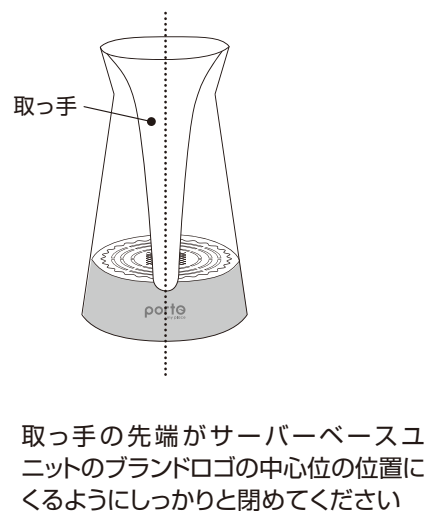
- ① MAXラインまで水を入れて、水素水を生成する→P7~11
- ② 水素水生成が終わったら、注ぎ口から水をすてる→P12

準備する

- ① タンクとサーバーベースユニットがしっかりと取り付けられていることを確認する



⚠ 取っ手を持って回さないでください
破損の原因になります



- ② 蓋を外して、スタンドユニットに本体を載せる前にMAXラインまで水を入れる



注意

水の量は550ml(MAXライン)が規定容量です。MAXラインを超えた水量を注がないでください。
タンクの外側に結露や水滴がついたときは、こぼれた水滴を乾いた布等でふきとってください。

以下の点にご注意ください

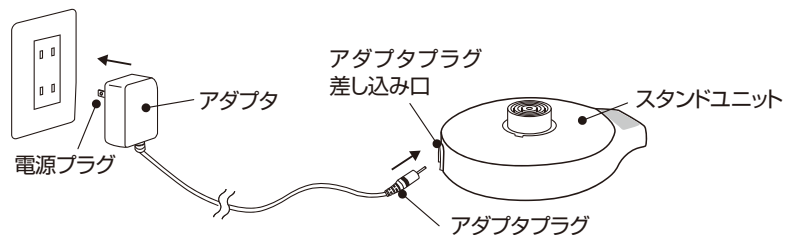
- 飲用以外での使用はしないでください。
- 水以外のもの(お茶・コーヒー・ジュースなど)での水素生成をしないでください。
- 水道水またはミネラルウォーター(軟水)を使用してください。
- 塩素除去セラミックボールにより、水道水(硬度60)に含まれる塩素量よりも低い濃度に除去できることを確認しておりますが、塩素臭が気になる方は、ミネラルウォーター(軟水)もしくは、浄水器の水を使用されることをお勧めいたします。
- 使用する水によって水素水が生成できないもの、できても品質が保証できないものがあります。以下の水はご使用にならないでください。
 - ・日本の水質基準に適合していない水
 - ・食塩水
 - ・超硬水(硬度350mg/L以上)
 - ・炭酸水
 - ・純水
 - ・蒸留水
- 50℃以上のお湯を入れてご使用にならないでください。



注意

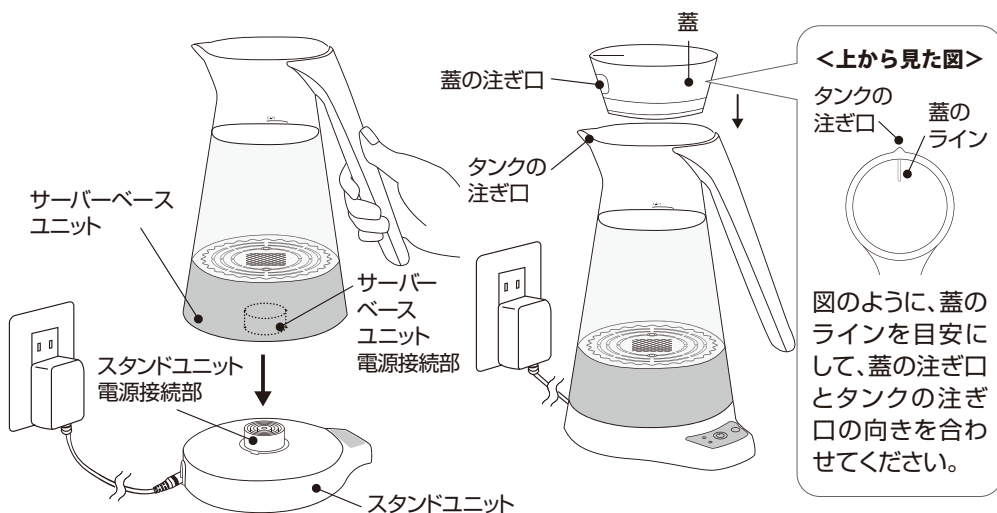
取り付けが不十分な場合水漏れの原因となります

③ スタンドユニットのアダプタプラグ差し込み口にアダプタプラグを差し込み、アダプタの電源プラグをコンセントに差し込む



注意 スタンドユニットは安定した水平な場所に設置してください。
転倒による水漏れの原因になります。

④ スタンドユニットに水の入った本体を確実に載せて蓋をする



注意 ・サーバーベースユニット電源接続部にスタンドユニット電源接続部をまっすぐに差し込んで、正しく本体が載せられていることを確認してください。
・蓋はサーバーにしっかりと取り付けてください。

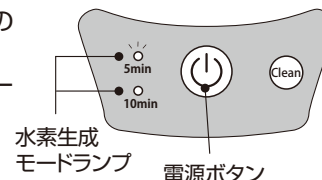
水素水生成をする

① スタンドユニット操作部の電源ボタン(⏻)を押して水素水生成モードを選択する

5分モード

- ・5分間水素を生成するモードです。
- ・硬度35度のミネラルウォーターで約400ppb濃度

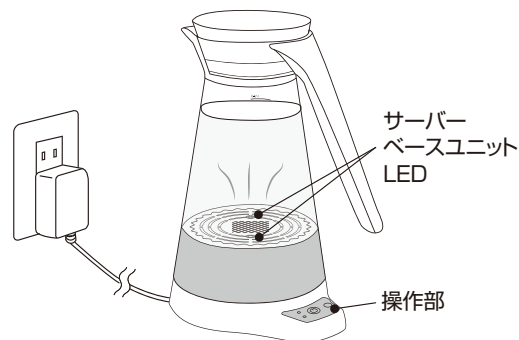
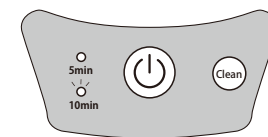
電源ボタンを1回押すと、「ピッ」とブザーが鳴って、操作部の5minの水素生成モードランプが青点灯します。約4秒後に水素の生成が始まり、水素生成中はサーバーベースユニット内のLEDが青点灯します。水素生成後自動で電源を「OFF」にします。



10分モード

- ・10分間水素を生成するモードです。
- ・硬度35度のミネラルウォーターで約650ppb濃度

電源ボタンを続けて2回押すと、「ピッ」「ピッ」というブザー音に合わせて操作部の5minの水素生成ランプの青点灯から10minの水素生成モードランプの点灯に切り替わります。約4秒後に水素の生成が始まり、水素生成中はサーバーベースユニット内のLEDが青点灯します。水素生成後自動で電源を「OFF」にします。



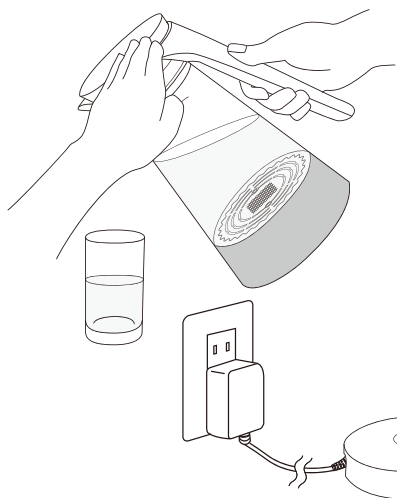
電源ボタンを連続して3回押すか、水素生成中に電源ボタンを押すと（「ピピッ」というブザーが鳴ります）、電源を「OFF」にし、水素生成を停止させることができます。

注意 水が入っていない状態やサーバー本体がスタンドユニットに正しく載せられていない状態で電源ボタンを押すと、空焚き防止機能が働き「ピピッ」というブザーが鳴って水素生成が停止し、LEDが消灯します。
・水素生成中は本体に触れたり、蓋を開閉しないでください。
・水面をなるべく揺らさないようにしてください。

② 水素水の生成が完了すると「ピピッ」というブザーが鳴ってLEDランプが消灯します。

水の種類や水温、水素生成モードによって水の白濁状況が異なりますが、製品の個体差ではありません。

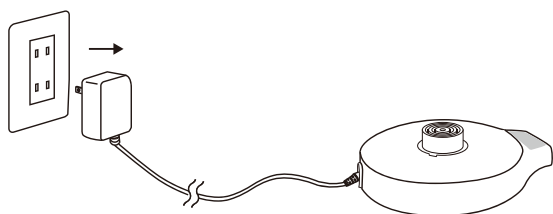
③ サーバー本体をスタンドユニットから外し、水素水を注ぐ



注意

- 蓋の注ぎ口とタンクの注ぎ口の向きを合わせてください(P9)
- 蓋が外れないよう蓋をおさえながらゆっくりと注いでください。セラミックボールに水を接触させながら注ぎ口へ水を流している為、急激に本体を傾けると、蓋が外れて水がこぼれる原因となります。

④ 使用後は、アダプタの電源プラグをコンセントから抜く



注意

- 水素水で薬の服用はしないでください。
- できあがった水素水はなるべく早くお飲みください。(推奨2時間以内)
- 時間とともに水素濃度は減少します。
- できあがった水素水を連続して再度水素生成しても水素濃度はほとんど変化しません。
- 複数回同じ水で水素水を生成すると、においや味に変化がおきることがありますので、同じ水での水素水生成は1回にしてください。

お手入れ



注意

お手入れの際は、電源が「OFF」になっていることを確認し、必ずアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、アダプタプラグをスタンドユニットから抜いてください。

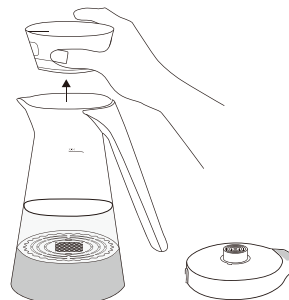
日常のお手入れ



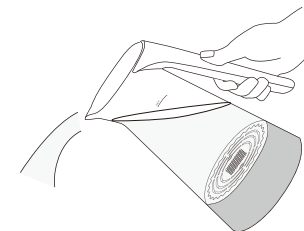
注意

本体は使用毎に洗浄し、乾燥させてください。
住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコールなどは洗浄に使わないでください。

① スタンドユニットから本体を外し、蓋を外す



② 残った水を捨てる



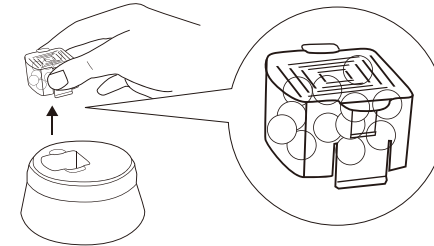
取っ手を持って注ぎ口からお水が飛び散らないようにゆっくりとシンクなどへ捨てる。

③ タンクとサーバーベースユニットを取り外す



サーバーベースユニットを時計回りに回します。

④ 蓋からセラミックボールケースを取り出す

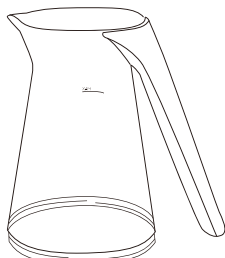


セラミックボールケースを蓋に戻す際に、ケースの向きに注意してください。正しい方向で挿し込まないと装着できません。

取っ手を持って回さないでください
破損の原因になります

⑤ 洗浄してよく乾かす

- 柔らかいスポンジなどを使って中性洗剤で洗ってから乾かすもの



タンク



蓋
(セラミックボールケースは外してください)

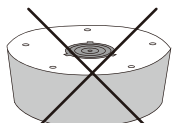


80℃以上のお湯は使用しないでください。

- 洗剤は使用しないで流水ですすぎ洗いしてから乾かすもの



水素発生電極板



裏面
⚠ 水ぬれ禁止

サーバーベース
ユニット 表面のみ

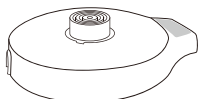


サーバーベースのユニットの水素発生電極板はこすり洗いしないでください。傷がつき、性能が発揮できなくなります。サーバーベースユニット裏面の電源接続部に水がかからないようにご注意ください。

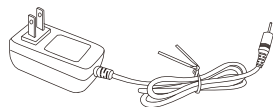


セラミックボールケース
セラミックボールケースはよく乾かしてから、蓋裏のセラミックボールケース装着部に正しく取り付けてご使用ください。

- 乾いた布でふくもの



スタンドユニット



アダプタ



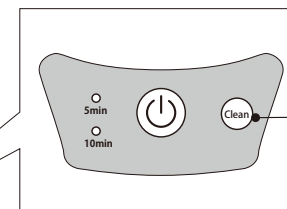
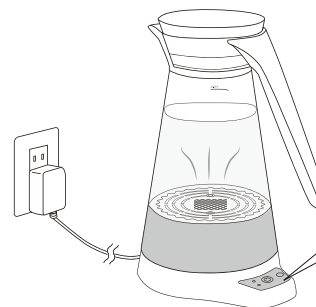
水素発生電極板のお手入れは十分気をつけて行ってください。サーバーベースユニット裏面と、スタンドユニットの電源接続部に水をかけないでください。

定期的なお手入れ

水素発生電極板に白いものが付着したり、白い浮遊物が多く見られるようになったときは以下の手順でお手入れして下さい。

※白い付着物は、水中に含まれるカルシウムなどのミネラル成分です。有害ではありません。

① 水素発生電極板 Cleanモードを使用する



水素発生電極板
洗浄ボタン

水素生成と同じ要領(P7~P9)で、本体に水道水をMAXラインまで注ぎ、スタンドユニットにセットし、操作部の水素発生電極板洗浄ボタン(Clean)を押してください。

- 「ピッ」というブザー音が鳴って、Cleanモードが作動します。
- 操作部の5minと10minの水素生成モードランプが交互に点灯します。
- サーバーベースユニット内のLEDライトは点灯しません。

② 電極板洗浄モードが終了すると、「ピピッ」という音と共に、操作部のランプが消灯し、自動で電源が「OFF」になります。(約10分)

③ 本体内の水を捨てて、日常のお手入れ(P12~P13)を行ってください。

それでも電極板の付着物がとれないときは・・・

- 1 550mlの水に小さじ1杯程度の市販のクエン酸を入れてよく溶かしてください。
- 2 溶けたら、その水を本体に注ぎ、そのまま1時間置いてください。
- 3 本体内の水を捨て、タンク内を水でよくすすいでください。
- 4 電極板に汚れが残っているときは、湿らせた綿棒で軽く取り除きます。こすらないよう注意してください。

保管のしかた

長期間使用されないときは、付着したごみやホコリなどを取り除き、十分に乾燥させてから、ビニール袋などに入れて、ホコリがつかないようにしてください。次回の仕様に支障のないようにお手入れし(P12~P14)、十分に乾燥させてから、湿気の少ないところに保管してください。カビなどが発生する原因になります。

サーバーベースユニットのお取替時期について

サーバーベースユニットは使用可能寿命があり、水素生成ごとに回数をカウントしています。合計2000回が交換目安となります。(5分、10分モードの選択は寿命に関係ありません)

- 使用回数が1990回を超えると、使用回数2000回に達するまで、使用するたびに交換目安のお知らせアラームが鳴ります。
- 使用回数が2000回を超えると、本機が稼働しなくなります。
- サーバーベースユニットの交換に関しては、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口までお問い合わせください。
- 1年以内でも使用回数が2000回になった際のサーバーベースユニットは消耗品扱いのため、有償となります。

サーバーベースユニットの取り外し(P12)、取り付け方(P7)参照。

故障かな？と思ったときは

ご使用中に異常が生じたときは、スタンドユニットの電源を1度「OFF」にした後、再度電源を「ON」にして動作を確認してください。それでも症状が直らないときは、次の点をお調べください。

こんなときは	考えられる原因	ご確認頂くこと
電源が入らない (水素の生成ができない)	サーバーベースユニットの交換時期	サーバーベースユニットを交換してください(P15)
	アダプタの電源プラグがコンセントに接続されていない	アダプタの電源プラグをコンセントに差し込んでください(P9)
	アダプタのアダプタプラグがスタンドユニットに接続されていない	アダプタのアダプタプラグをスタンドユニットに差し込んでください(P9)
	アダプタの電源プラグ、アダプタプラグが濡れている、汚れている	乾いた布で、水気や、汚れを拭き取ってください
運転させるとブザーがなり、電源がすぐ切れる (水素の生成ができない)	使用できない水を使用している	推奨の水をご使用ください
	水が入っていない	本体にMAXラインまで水をいれてください(P8)
	本体がスタンドユニットに正しく載せられていないため安全装置が働いている	本体をスタンドユニットに正しく載せてください(P9)
水素の発生が減少したようにみえる (白濁度合いが変わった)	水素発生電極板に汚れが付着している	水素発生電極板のお手入れを行ってください(P14)
白い浮遊物がみえる (水素発生電極板に白い汚れが付いた)	カルシウムなどのミネラル成分が浮遊・付着している	少量であれば問題ありませんが、気になる場合は水素発生電極板のお手入れを行ってください(P14)
においや味に変化が起きた	複数回水素水の生成を行った	同じ水での水素生成は1回にしてください

仕様

商 品 名	卓上水素生成器 H ⁺ server
型 番	AIM-HW01
定 格 電 圧 (ア ダ プ タ)	INPUT:AC100-240V 50/60Hz 0.45A OUTPUT:DC19V 0.78A
消 費 電 力	(約) 14W
タンク定格容量	(約) 550ml
本 体 サ イ ズ	(約) 幅: 11.8cm × 奥行: 15.8cm × 高さ: 21.8cm (スタンドユニット含)
本 体 重 量	(約) 500g(アダプタ、スタンドユニット除く)
原 産 国	中国
本 体 材 質	AS. ABS

保証とアフターサービス **必ずお読みください**

■保証について

- 本製品には保証書がついています。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入の日から1年間です。
保証書の記載内容により、お買上げの販売店が修理いたします。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により修理いたします。費用など詳しいことはお買上げの販売店にご相談ください。弊社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後5年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 部品の消耗による部品の交換及びメンテナンスの費用は、保証期間内でも有料となります。

■アフターサービスについて

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買上げの販売店に修理を依頼してください。アフターサービスのお申しつけをいただくときは、下記のことをお知らせください。

型 式 AIM-HW01
故障状態 できるだけ詳しく
ご氏名・ご住所・お電話番号

- アフターサービスについてご不明の場合、そのほかお困りの場合は、お買上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。
- アフターサービスご利用の際に商品梱包箱が必要となる場合がございますので、開封後の商品梱包箱は廃棄せず、保管されることをおすすめします。

■送料規定

- 保証期間中の修理品の送受方法
原則センドバック方式(お客様にて修理依頼品を弊社修理窓口へ発送いただく方法)で、送料は双方元払い(往路:お客様負担、復路:弊社負担)とさせていただきます。

消耗品販売のご案内

次の部品は消耗品です。破損・摩耗したときは新しい部品に交換してください。(有料) 新しい部品をお買い求めのときは、当社のホームページまたは以下のお客様相談窓口までお問い合わせください。

消耗品名(AIM-HW01専用)	交換時期の目安
サーバーベースユニット	2000回使用
アダプタ(K15V190078J)	破損、紛失したとき
セラミックボールケース (セラミックボール付)	セラミックボールが割れたり、 ケースから出るくらいに小さくなったとき

■お客様相談窓口

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、
まずはお買上げ販売店にお申し付けください。

ナビダイヤル **携帯OK** 全国どこからでも **市内通話料でOK**

 **0570-081-634**

※お客様が加入されている電話(NTT以外の一般回線、PHS、およびIP電話など)によっては、ご利用できない場合がございます。その場合は、下記電話番号へお掛けください。

【受付時間】 祝日を除く 月～金 10:00～17:00
(都合によりお休みさせていただく場合がございます)

株式会社ツカモトコーポレーション エイム事業部
TEL:03-3279-1511・1512 FAX:03-3279-1515
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-6-5